

# 水晶美術彫刻の技術の向上と伝承に向けて ● 山梨県水晶美術彫刻協同組合

## 第56回水晶彫刻新作展を開催

山梨県水晶美術彫刻協同組合(高野誠理事長)は、10月23日(日)~27日(木)まで県庁防災新館内の「やまなしプラザオープンスクエア」において第56回水晶彫刻新作展を開催し、23日にオープニングセレモニー及び表彰式が行われた。また、山梨県宝石美術専門学校生徒による「水晶美術彫刻デザイン画コンテスト2016」の表彰式と入賞作品の



主催者及び来賓によるテープカット

展示も同時開催として行われた。

この新作展は、組合員が製作した「水晶美術彫刻品」と水晶美術彫刻加工法を活かした「装身具類」等の技術向上と伝統的工艺品産業の振興と後継者の育成を図るため、県内外の美術愛好家の観覧に供し、広くその作品を紹介することを目的に開催している。

審査は、「彫刻置物」「装身具類」「テーマ作品」の3部門に分かれて行われ、関東経済産業局長賞をはじめとする優秀作品21点が表彰された。山梨県中小企業団体中央会会長賞は、「彫刻置物」部門では長岡良雄氏の「阿修羅」(原石:ポリマーオパール)、「装身具類」では河野すすむ氏の「黒豹」(原石:紺虎目、オニキス)が受賞し、中込雅専務理事より表彰状が授与された。

組合では、山梨の伝統産業である水晶彫刻産業

の保存と発展のための技術向上や後継者育成に積極的に努めており、学生の指導にも力を入れている。

今回の新作展においても、ベテランに加え若手の入賞者が多く、従来の製品と異なる斬新性や市場性の高さが評価されていた。

また、入賞作品をより多くの県民に見てもらうため、10月28日(金)から11月3日(木)まで甲府市役所の「市民コミュニティホール」で展示し、終了後は同組合の事務所が入居している笛吹市の「やまなし伝産工芸館」において展示が行われる。



中央会会長賞の『阿修羅像』